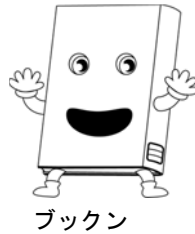


としよしつ 図書室だより



平成27年11月4日

横浜市立中村小学校
校長 中川和幸
学校司書 青木美佳

No. 7

～読書の秋到来！！本をじっくり読もう～



11月のテーマ展示

～味わってみよう、
感じてみよう、
言葉の力～

11月になりました。紅葉の季節ですね。

今月はこんな素敵な詩を紹介します。

「秋のおたより」 金子みすず

～山から町へのお便りは、柿の実、栗の実、熟れ候
ひよどり、つぐみ、なき候 お山はまつりになり候
町から山へのお便りは、ツバメがみんな去に候
柳の葉っぱが散り候 さむく、さみしく、なり候～

集中しやすいこの季節に、本を手にしてみましよう。たくさん読まなくてもかまいません。言葉が持つ美しさや力強さ素晴らしさを、じっくり味わってみましよう。

クイズ「おはよう」の語源はなに？

(語源とは・・・どうしてそのような名前がついたのかという理由のこと。その理由について考えてみましょう。) 次の中から「おはよう」のもとになった言葉をえらびましょう。(答えはプリントの裏)

- A: もとは京都の言葉で、「早くしなさい」→「おはやく」→「おはよう」からでてきた言葉。
- B: 「お早く出発ですね」などのように、「おはやく」が転じて「おはよう」になった。
- C: 「ゆうべはようねむれましたか？」という京都の言葉の一部分をとって生まれた言葉。

* 出典: 「まんがで学ぶ語源」 山口 理 著 国土社より抜粋

10月の図書室では・・・

図書室ミステリーツアー「俳句バラバラ事件」では、バラバラになった俳句を正しく並べたり、暗唱にチャレンジする人がたくさんいました。

俳句は、季節の詩です。たった17音(五・七・五)ですが、春夏秋冬の自然(季語)が豊かに織り込まれています。また、俳句は生活の詩でもあります。

日常のありふれたできごとが、季語と結びつくことで、とても輝くような詩になります。

10月は、覚えておきたい有名な俳句を毎週掲示し、「俳句バラバラ事件」を解決したり、暗唱することにチャレンジした月でした。

11月のおしらせ



- ◆おはなし南の会による読み聞かせ 11/12(木)・19(木)
- ◆読書集会 11/25(水)
- ◆ポプラブック委員会によるブックマラソン・読書クイズ

10月のおはなし会では・・・

2年生の教科書に登場する、「がまくんとかえるくん」シリーズの音読劇をしました。ナレーターに加藤副校長先生やがまくん役の東先生にもご協力いただき、毎回大きな拍手がわきあがりました。

がつ としよしつとくせつこーなー しょうかい
11月の図書室特設コーナーの紹介



図書室では、これだけは中村小学校の皆さんに読んでもらいたい日本を代表する作家の特設コーナーを設けています。4年生から6年生の教科書にも長年にわたって掲載されている作品はもちろんのこと、1年生から3年生の皆さんにも親しみやすい本を紹介しています。あの、「雨ニモマケズ」の詩を書いた宮沢賢治の作品もありますよ。ぜひ、手に取って、ゆっくり味わいながら読んでみましょう。

- ◆ 宮沢賢治コーナー
- ◆ 椋鳩十コーナー
- ◆ 新美南吉コーナー
- ◆ レオ・レオニコーナー
- ◆ アーノルド・ローベルコーナー

なつ きょうかしよしりーず
～懐かしい教科書シリーズ

だいなだん
第七弾～

今回は阪田寛夫の詩「夕日がせなかをおしてくる」を紹介しします。

～夕日がせなかをおしてくる
 まっかなうででおしてくる・・・
 ではじまる有名な詩です。「まっかなうで」って、どんな腕でしょうね？どんな色かも想像しながら読んでみましょう。



クイズ「おはよう」の語源は・・・

答えは、B

「おはよう」は、もともとはその日に初めて会った人に対してするあいさつだそうです。気持ちよくあいさつができると、素晴らしいですね。

70年間は秒になおすと・・・

なんと2,207,520,000秒（二十二億七百五十二万秒）！

秒になおすと不思議な感じがしますね。

だからこそ、これを読まないなんてもったいない！！

今月おすすめの本『モモ』ミヒャエル・エンデ作

今月のひと「ミヒャエル・エンデ」

みなさんは、『モモ』や『はてしない物語』という本を知っていますか？図書室で一度はみたことがある人も多いと思います。読書の秋・・・少し長い物語ですが、読み終わったあとの感動は大人になっても忘れられないものになります。ぜひ、読んでみてください。

今回は、『モモ』のあらすじを紹介しします。

・・・町はずれの円形劇場の跡地に住み始めた不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話を聞いてもらおうと、勇気がでて幸せな気持ちになりました。しかしある日、全身灰色の服をきた時間貯蓄銀行員と名乗る「灰色の男たち」が人々の貴重な時間を奪っていきます。人々は知らず知らずのうちにイライラとしながら、利益や損得についてばかり考えるようになります。そんな「灰色の男たち」にモモがたった一人で立ち向かいます。はたしてモモは人々に時間を取り戻すことができるのでしょうか？・・・

時間とはなにか、本当の心の豊かさとは何かを問いかけたドイツ児童文学の巨匠ミヒャエル・エンデの作品を、ぜひ読んでみましょう。



図書室

オープンスペース

11月は国際理解週間があります。

オープンスペースでは世界のお話を毎日展示していきます。韓国・朝鮮のお話はもちろん、いろいろな国のお話を読んでみましょう。絵本にはその国の特徴が生き生きと表現されていますよ。